

グローバル共生研究 研究概要

コア 研究 1	1. 研究代表者 法学部 特任教授 糟谷 英之
	2. 研究課題名 地域と結びついた「異文化間相互理解と不寛容除去」の研究
	3. 研究概要 摂南大学が加盟する国連アカデミックインパクト原則 10「異文化間相互理解と不寛容除去」を共通のテーマとして、各共同研究者のこれまでの研究を基礎に学部横断的に研究を進め、総合的な研究として統合することを目指す。とりわけこれまでの地域研究・国際交流・海外研修などの成果を踏まえ、まずは国際社会に現存する移民・難民問題などとその対策の現状分析から出発したい。 次に現状分析をもとに日本においてすでに生じているかまたは将来生じるであろうと思われる課題を抽出し、それに対する対応策を各人の専門分野から模索することにする。 最終的には共通テーマを促進するための方策を総合的な研究としてまとめることが可能となるように共同研究者間の共通認識を深めたい。
コア 研究 2	1. 研究代表者 理工学部 住環境デザイン学科 准教授 白鳥 武
	2. 研究課題名 新「地球共生学」及びその追求手法「地球共生デザイン」の開発に向けた実践型基礎研究
	3. 研究概要 本実践型基礎研究は、学術領域を超えて「地球上の全生命体との調和的共生（地球共生）を実現する」という積年の課題解決に向けた学問「①地球共生学」の開発と従来手法や成果の有形・無形を問わず地球共生実現への追求を貫く「②地球共生デザイン」手法の確立を目指す。地球共生という評価軸を最重視した「地球共生学」は現行とは異なる③多様な成果の在り方やそれらの評価を含めた新方法論が必要と考える。 多様な民族・生命体に有効な解を蓄積する為には、主流以外の「多様な知の体系」も考える複眼的な協同機会が重要で、「地球民族として平等な協同知的創造活動」により地球共生阻害問題群の解決を続け、実践実証から新学問開発の骨子を導く。

<地域総合研究 5件>

No.	研究代表者	研究課題名
1	外国語学部・教授 浅野 英一	「すさみ町総合開発研究」から得た課題分析結果による地域社会の持続可能性に関する研究（3）
2	経営学部・教授 鶴坂 貴恵	ブランドエクイティを高めるブランド経験の「場」の創出に関する研究—由良町における地域ブランディングを例として—
3	理工学部・教授 池内 淳子	摂南大学が地域の拠点となるために必要な空間的条件の整理—“地域拠点としての大学”に求められる要素とは？—（2）
4	経済学部・教授 後藤 和子	淀川水系に関する総合的研究—多様性に基づく発展ダイナミクスの探求
5	外国語学部・教授 岩間 香	日本の伝統行事と住宅のしつらい